

西臼杵地域の普及活動（普及活動月報）

令和7年11月 西臼杵支庁
(西臼杵農業改良普及センター)

目次

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

- 1 JAみやざき高千穂地区本部女性部 令和7年度「家の光大会」の開催
- 2 11月期子牛セリ市開催

II 主な普及指導活動等の取組み

プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：集落営農等サポート体制、担い手の確保、規模拡大、6次産業化 等]

[専門：ミニトマト、キンカン、ラナンキュラス、りんどう]

- 1 【全域】就農相談会の開催
 - 2 【全域】事業承継研修会
 - 3 【高千穂町・日之影町】事業承継に関する聞き取り調査
 - 4 【高千穂町】高千穂ファーマーズスクール検討会
 - 5 【管内】道の駅高千穂において西臼杵産の茶をPR
 - 6 【管内】高千穂地区営農振興協議会茶部会及び作物部会の開催
 - 7 【管内】高千穂地区営農振興協議会野菜部会（第8回）の開催
 - 8 【管内】くりの実績検討会の開催
 - 9 【高千穂町・日之影町】きんかん全戸巡回を実施
 - 10 【管内】高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第8回）の開催
 - 11 【管内】高千穂地区営農振興協議会花き部会（第8回）の開催
 - 12 【高千穂町・日之影町】ラナンキュラス全戸巡回を実施
 - 13 【高千穂町】ラナンキュラス大苗に関する西諸県地域との意見交換
-
- 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動)
 - 1 【管内全域】高千穂地区スイートピー部会の視察研修の実施

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 JAみやざき高千穂地区本部女性部 令和7年度「家の光大会」の開催

13日、高千穂町自然休養村管理センターにおいて、JAみやざき高千穂地区本部と女性部の主催により、標記大会が開催され、約150名の女性部員や関係者が参加しました。

記念講話では、県立看護大学川越教授を講師に、子宮頸がんワクチン接種及び子宮がん検診について講話がありました。そのほか、お米・米粉料理、手作り作品コンクールや、女性部員らが趣向を凝らしたステージ発表が盛大に行われました。



【令和7年度 家の光大会】

2 11月期子牛セリ市開催

22日からの2日間、JA高千穂地区家畜市場において、11月期子牛セリ市が開催されました。

出場頭数は、2日間合計 499頭（雌 237頭、去勢 262頭）で、平均売却価格は雌 692,205円、去勢 784,657円となりました。

今回のセリ前研修会は、日向市での鳥インフルエンザ防疫対応のため休止しましたが、冬場の保温対策や牛の下痢対策についてまとめた資料を生産者へ配布し、情報提供を行いました。

II 主な普及指導活動等の取組み

プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：集落営農等サポート体制、担い手の確保、規模拡大、6次産業化 等]

[専門：ミニトマト、キンカン、ラナンキュラス、りんどう]

1 【全域】就農相談会の開催

就農を希望する相談者6名に対し、各町及びJA担当者と共に、以下の支援を行いました。

- ・高千穂町1名（希望品目：水稻、露地ピーマン）：17日
- ・日之影町2名（希望品目：1名がくり及び農産加工等、1名がレモンほか）：14日、27日
- ・五ヶ瀬町3名（希望品目：1名が促成イチゴ、2名が茶）：4日、18日、20日、26日

相談会では、農地等の就農準備状況の聞き取りや経営収支計画の作成支援、就農予定地の現地調査を行いました。

今後も関係機関・団体等と連携し、相談者の意向を尊重しながら、持続可能な就農に向けた伴走支援を継続してまいります。



【日之影町 就農相談会】

2 【全域】 事業承継研修会

25日、普及センター研修室において、高千穂地区営農振興協議会との共催により、標記研修会を開催し、生産者18名及び関係者28名の出席がありました。

県農業振興公社の事業承継コーディネーターから、県内の推進状況について説明があったのちに、(株)ケミストリーの村上一幸氏から「持続可能な地域農業のための承継とその準備」と題して講話がありました。事業承継は、健康なうちから早めの準備を行うことの重要性や、地域の生産者と関係者が一体となって取り組むことの必要性などについて説明があり、参加者からは「今後も引き続き研修会を実施してほしい」といった声も聞かれました。

西臼杵の農業を未来に繋ぐ上で、事業承継の推進は極めて重要な取組であることから、普及センターでは、今後も個別相談会の開催や専門家派遣などを通じて支援していきます。



【事業承継研修会】

3 【高千穂町・日之影町】 事業承継に関する聞き取り調査

25日、26日に事業承継を希望している畜産農家2名（高千穂町、日之影町）を対象に、総合農業試験場の専門技術指導員と共に、事業承継に関する聞き取り調査を実施しました。

今回は、事業承継を検討している時期や資産（農地、機械、施設等）について確認のほか、候補者の有無などについて聞き取りを行いました。

今後も、関係機関・団体と連携し、円滑な事業承継に向けた支援を行って参ります。



【事業承継の聞き取り調査】

4 【高千穂町】 高千穂ファーマーズスクール検討会

27日、普及センターにおいて、関係機関・団体が参集し、標記検討会を実施しました。

今回は、主に経営シミュレーションや研修スケジュール、募集パンフレットの見直し、就農後のサポート等に関する協議を行いました。

今後も、関係機関・団体と連携し、新規就農者の確保や育成に向け支援していきます。



【高千穂ファーマーズスクール検討会】

5 【管内】 道の駅高千穂において西臼杵産の茶をPR

7日、11日の2日間、道の駅高千穂において、烏龍茶研究会による西臼杵産の茶のPR活動を行いました。この取組は、みやざきブランド推進西臼杵地域本部の取組の一環として行われ、釜炒り茶を中心に、紅茶や烏龍茶などの試飲・販売を行いました。

2日間で約200名の来場があり、そのうち試飲した100名から、西臼杵のお茶に関する感想や、求めたい商品についてアンケートに答えていただきました。

アンケート結果については、今後、烏龍茶研究会や関係者に共有していく予定です。



【道の駅高千穂での西臼杵茶のPR】

6 【管内】高千穂地区営農振興協議会茶部会及び作物部会の開催

28日、普及センターにおいて、茶部会および作物部会を開催しました。

茶部会では、西臼杵地域の茶の振興計画について情報共有を行い、地域全体で茶産地を支える体制について協議しました。また、10月に静岡県で開催された「世界お茶まつり」や、てん茶に取り組む静岡県の生産者の状況について、視察参加者から報告がありました。

作物部会では、今年度の水稻の展示ほの収量調査結果を共有しました。また、次年度に向けて、農薬展示ほの実施や、県の水稲新品種「南海189号」の展示ほに取り組むことが決定しました。

7 【管内】高千穂地区営農振興協議会野菜部会（第8回）の開催

19日、普及センターの研修室において、標記野菜部会を開催しました。

会議では、令和7年産の生育状況及び出荷状況の共有や先進事例調査の検討を行いました。普及センターからは、トマトキバガの誘殺状況や展示ほ調査結果について報告を行いました。

夏秋野菜の栽培もおおむね11月で終了するため、今後は、次作に向けた検討を行っていきます。



【野菜技術員会】

8 【管内】くりの実績検討会の開催

20日、日之影町において、くりの実績検討会が行われ、生産者と関係者をあわせて27名の参加がありました。

今年は台風による被害もなく、高品質なくりが順調に出荷され、市場や販売先からは高い評価と感謝の言葉がありました。

検討会では、部会長から今年の生産活動に対する労いの言葉が述べられ、来月から始まるせん定作業について、安全に作業するよう呼びかけがありました。

普及センターからは、今年の気象の振り返りと、良質な果実生産に繋がる土壌管理や適切なせん定時期など、来年に向けた管理ポイントについて説明しました。

今後も、より高品質なくりの安定生産をめざし、積極的に支援していきます。



【くりの実績検討会】

9 【高千穂町・日之影町】きんかん全戸巡回を実施

5日に高千穂町、6日に日之影町において、きんかんの生育状況確認と今後の管理指導のため、全戸巡回を行いました。

きんかんは着色期に入っており、果実が徐々に黄色を帯びてきています。全体的に生育は良好で、多くの園地で高品質な果実が期待されます。

生産者は、冬の寒さに備え、加温機の準備や内張ビニルの被覆といった環境整備に熱心に取り組んでいる様子が見られました。普及センターからは、資料を配付して温度管理や病害虫に関して情報提供を行いました。

例年、加温後にハダニの発生が見られるため、引き続き防除指導をしていきます。



【きんかんの生育状況】

10 【管内】高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第8回）の開催

19日、普及センターの研修室において、標記果樹部会を開催しました。

きんかんの生育状況の報告や日程調整、情報提供のほか、産地の競争力強化と持続的発展を目指し、現在作成を進めている果樹産地構造改革計画の修正案の提案と、今後のスケジュールについて共有し、計画の完成に向けて協力を依頼しました。

来月は、きんかんの果実分析など、品質向上や生産性向上に繋がる重要な調査が多くなることから、引き続き、部会関係者と連携し、果樹産地の振興に向け取り組んでいきます。



【果樹技術員会】

11 【管内】高千穂地区営農振興協議会花き部会（第8回）の開催

19日、普及センターの研修室において、標記花き部会を開催しました。

会議では、ラナンキュラス、スイートピーなど管内花きの生育状況の共有や視察研修等の日程調整を行いました。スイートピーは数箱出荷されていますが、本格出荷は12月中下旬の見込みです。普及センターからは、展示ほ進捗状況について共有を行いました。

引き続き、生育状況を確認しながら、高千穂地区の花き振興に取り組んでいきます。



【花き技術員会】

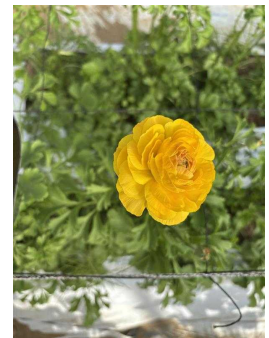
12 【高千穂町・日之影町】ラナンキュラス全戸巡回を実施

25日に高千穂町、26日に日之影町において、ラナンキュラスの全戸巡回を行いました。

生育状況は発蕾期に入り、所々に蕾が確認されました。全体的に生育は良好ですが、例年に比べ、本格的な出荷開始は遅くなる見込みです。

普及センターからは、花シミ対策に関する情報提供を行いました。

引き続き、日々の巡回を通じて、安定出荷に向けた管理指導をしていきます。



【ラナンキュラスの開花状況】

13 【高千穂町】ラナンキュラス大苗に関する西諸県地域との意見交換

27日、高千穂町岩戸のラナンキュラスほ場において、西諸県地区の生産者及び関係者との標記意見交換をリモート形式で開催しました。

意見交換では、大苗の定植後の初期生育状況について、両地域の状況を互いに確認し合い、西臼杵地域からは、定植後の初期生育が安定していたとの声が多く聞かれました。一方で西諸県地域からは、大苗での腐敗が多く見られたとの報告があり、初期生育に関する見解は地域間で異なる結果となりました。

今後、両地域における発蕾や開花状況、収量などを継続的に確認し、大苗栽培の具体的な効果や課題をさらに詳しく見極めていく予定です。



【高千穂町のラナンキュラス大苗株】

プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 【管内全域】高千穂地区スイートピー部会の視察研修の実施

18日、高千穂地区スイートピー部会の視察研修が実施され、スイートピー生産者6名が参加しました。

はじめに、総合農業試験場花き部を訪問し、育成品種の開花状況を視察しました。ここでは、研究員との意見交換を通じて、最新の育成技術など知見を深め、今後の栽培技術向上に繋がる貴重な機会となりました。

次に、宮崎中央花き及び宮崎花市場を訪問し、最新の販売状況や今後の市場動向に関する意見交換を行いました。市場担当者からは、西臼杵のスイートピーは高品質で市場の評価が高いなどの話があり、生産者の更なる意欲向上に繋がるものとなりました。

普及センターでは、今回の視察研修で学んだ知見を生産者や関係者と共有し、高品質なスイートピーの安定供給に繋がるよう支援していきます。



【総合農業試験場花き部のスイートピーを視察】